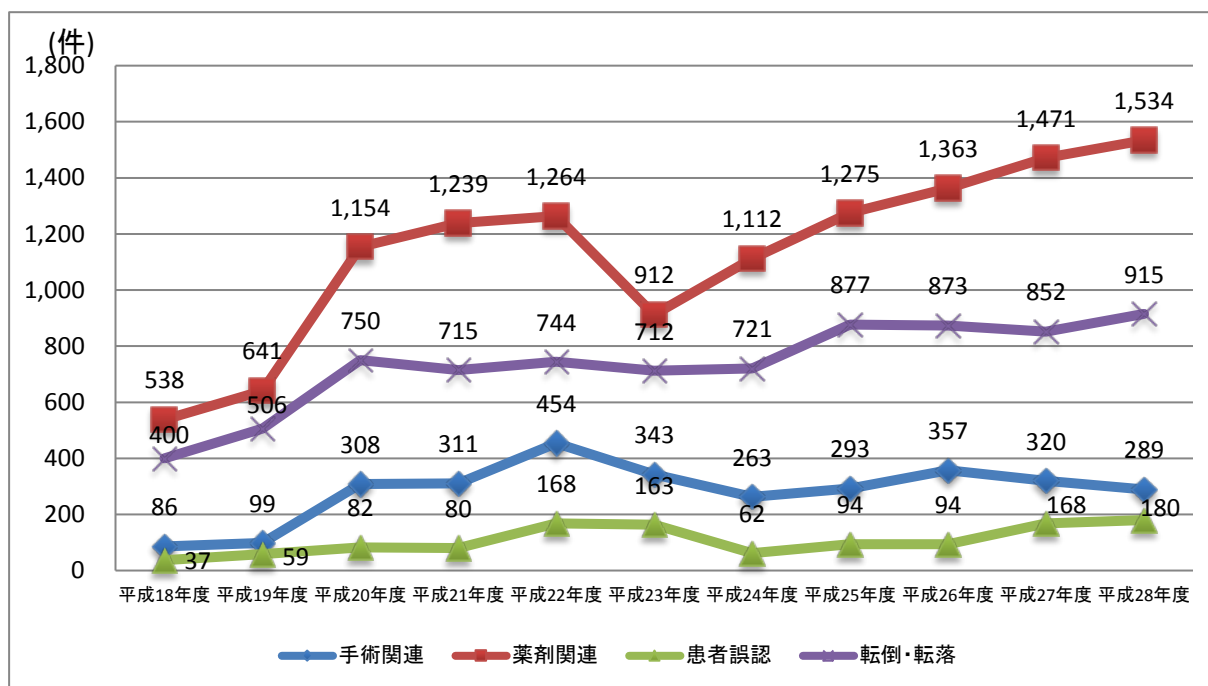


15. インシデント・アクシデントレポート種類別報告数



各年度における事故の種類別件数を示している。薬剤に関連した事故が最も多く、次いで転倒・転落である。

「患者誤認」は重大な事故に繋がりにかねないが、平成28年度は前年度より微増となった。薬剤に関連した患者誤認が最も多く、次いで、検査関連の場面で患者誤認が多くなっている。ただ、患者への影響度別では、患者へ処置が実施される前に職員が誤認に気づく「ヒヤリ・ハット報告」の増加がほとんどであった。リストバンドによる確認や患者自身にフルネームで名乗ってもらう確認方法が浸透しつつあり、事故の防止に繋がっている。重大な事故に至る事例は昨年と同等の割合であった。

データ提供 医療の質・安全対策部 安全管理室